

地域支援推進事業（国見町）訪問



国見町観月台文化センター

10月10日に地域支援推進事業訪問で、国見町を訪問しました。国見町の地域支援コーディネーターをしている皆さんは、通常は国見町観月台文化センター（国見町公民館）で活動しています。

現在、昨年の東日本大震災により国見町役場庁舎が被災したため、庁舎を新築するまでの間、観月台文化センターに役場機能及び町災害対策本部が入っています。そのため、公民館の事業や活動に大きな制約がある中、公民館職員の皆さんのご尽力により運営されているそうです。国見町役場の新庁舎は、平成27年3月に完成予定です。

どんな活動をしていますか。



1 活動は、図書室や読書活動に関わる業務が中心です。

通常は、観月台文化センター内の図書室で、土曜日や日曜日の図書の貸出業務を行っています。コーディネーターの方は子育て中の方がほとんどで、うまく都合が付かない場合もありますが、みんなで協力して調整をしています。図書室利用の常連の方々とは顔なじみになっています。

2 10月2日（火）・10日（水）には、国見町公民館主催事業である町民講座～世界が広がる本との出会い～「本の基本と選び方」を企画・運営しました。



① 第2回は県立図書館専門司書の大崎眞希子氏による講話「子どもと読書」を拝聴しました。（左）



② 県立図書館から提供いただいた本を手に取りながら、読ませたい本の選び方のポイントを、学びました。（右）



③ 読み聞かせ等の合間で、子どもの低下した集中力を再度高めるため、いくつかの「手遊び」を練習しました。（上）

3 今後は、読書活動以外の公民館事業にも関わっていくようにします。

コーディネーターさんたちから

私たちは、「放課後子ども教室」のコーディネーターやスタッフもしています。今年から町内の小学校が統合されて1校になったため、放課後子ども教室も土、日曜日の開催となりました。図書室の貸出業務や家庭との調整を図りながら、コーディネーターの仕事をするは大変ですが、少しでも町民のために、子どもたちのためにとがんばっています。



国見っ子わんぱく広場